

「神の愛を証しする部門」の活動

「神の愛を証しする部門」代表 清水教会 加藤千恵子

今年度「証し」部門の代表を引き受けた期に当たり、今回この部門の2015年度以降の活動を明らかにし、今後の活動について考えてみました。

1) 2015年度以降取り組んで来た活動

2015年度は前年度に引き続き、静清地区の東日本大震災被災地支援活動・ボランティア活動への参加と、この年度から始めた船員司牧のクリスマスプレゼントを贈る活動があります。プレゼントは五教会が協力して準備し、清水教会担当者が清水港に出向き、船を訪れ船員さんにプレゼントを渡す形で実施しました。この2つの活動は2019年度まで続けました。また、この期間に静岡教会を会場として講演会開催にも取り組みました。2017年6月24日（土）には演題「原発事故による被災地の現状と活動」講師 畠中ちあき氏（カリタス南相馬所長）、2019年7月6日（土）には演題「福島に今必要なこと」講師 名誉司教 幸田和生師、その他、船員司牧関係では2015年5月に演題「船員司牧について」講師 青木淳氏（横浜山手教会信徒、元船員）、2017年7月2日（日）清水教会にて、AOS横浜（当時の名称）主催の研修会に取り組みました。

その後は、東北被災地支援活動は終了となり、船員さんへのプレゼント活動はCOVID-19感染防止のため中止しています。



2) 東日本大震災から11年を迎えた今、被災地に残されている課題

2022年3月11日（金）の新聞を見ると、「津波が襲った沿岸や市街地では、癒えぬ悲しみを抱きながら大切な人に思いを寄せ、それぞれが祈りを捧げた。」の記述があります。被災地から離れて住んでいる私たちは大震災への意識が薄まっても、被災地の人の悲しみは続いています。また、被災地に残されている課題—産業や暮らしの課題、原発事故のための帰還困難者の問題、「処理水」や「汚染土壌処理」、「廃炉作業」などは未解決です。このことを私たちは忘れず、名誉司教、幸田和生師が講演で言われた「苦しむ人と共にいて下さるキリスト」を証し出来るよう、被災地の人を大切に思い、寄り添う者でありたいです。また、福島原発事故への関心を持ち続け、福島の人々が受けた被害、苦しみを無意味にしないように脱原発への決断を真剣に考えて行きたいです。



3) 船員さんの置かれている昨今の状況

2022年4月にステラマリス横浜からの便りが届きました。その中に船員さんは今、益々厳しい状況に置かれていることが書かれていました。コロナのため船が港についても上陸することが許されず、狭い船内に閉じ込められたままになっています。また、契約期間が終わっても交代の船員が来ないためずっと家に帰れません。ウクライナ戦争によって黒海周辺では通常の航海ができません。世界経済の悪化のためスリランカでは船を動かすための油が買えず船員さんの仕事がありません。私たちの目に見えない所で働き、苦しんでいる船員さんのことを思い出してお祈りをして欲しいと書かれていました。

4) 「証し部門」の今後の活動として、東日本大震災被災者支援に何らかの形で取り組み、船員司牧活動の継続。また、困難を抱える外国籍信徒への関心を高める活動、カトリック新聞で継続して取り上げている日本の入管制度の問題点などについても考えて行きたいと思います。

7月よりベトナム語ミサが静岡教会で開催

(静岡地区ホームページより)

毎月1回、浜松教会のサレジオ会司祭ヒエン神父様によって草薙教会で行われていたベトナム語ミサが、7月より静岡教会で行われることになりました。これは近年国内でのベトナム出身の方々の増加に伴い、静岡県においてもベトナム出身の信者が増加し、県中部では草薙教会で月1回浜松からヒエン神父様に来ていただきベトナム語ミサが開催されてきました。ただ、最近は県中部のみならず、東部の富士・沼津方面や焼津・藤枝方面からもミサに与る人たちが増え、時には150~200人に上る状況で、コロナ禍もあって小さな草薙教会ではかなり密な状況が続いていました。将来的に草薙教会の収容能力に限界が来ていることが目に見えてきたため、施設のにも環境的にももっと恵まれている静岡教会にお願いすることになったのです。

今年6月、静岡教会においてベトナム・コミュニティ代表者と草薙教会の高橋神父様、静岡教会の和野神父様、教会委員長様、ベトナム人のヒエン神父様と厚木教会のソン神父様が集まり、静岡教会でのベトナム・コミュニティの受け入れについて話し合いが行われました。

その結果、従来通り毎月第2日曜日16時より静岡教会においてベトナム語ミサが行われることになり、7月10日第1回のミサが約200人の在日ベトナム人の皆さんが参列して、ソン神父様が主司式、ヒエン神父様と高橋神父様が共同司式で行われました。静岡におけるベトナム・コミュニティの記念すべき一日となりました。静岡教会の皆さま、同じ信仰で結ばれた兄弟としてこれからよろしく願っています。



ヒエン神父様 ソン神父様 高橋神父様



7月10日 静岡教会のベトナム・コミュニティの皆さん